※修士論文の表紙等には，大学指定があります．学務Gから配布される「修士学位論文等審査に関する手引き」をご確認ください．大学指定の部分以外はこのテンプレートに準じてください．

タイトル（日本語）

Title (English)

\*タイトルは指導教員とよく相談すること（事前提出するタイトルと完全に一致させること）

学籍番号

氏名（日本語）

Name (English)

信州大学理学部理学科 物質循環学コース

令和＊年度 卒業論文

20\*\*年1月

表紙裏は白紙にすること

**要旨**

（または，Abstract）

降雨に伴う流出発生過程を考えるうえで，山岳域における水循環系を理解することは重要である．近年では・・・・

\*和文要旨か英文Abstractにするかは指導教員と相談すること

\*和文要旨の場合は1000字以内

\*英文Abstractの場合は500 words以内

\*Abstractから図表目次までのページ番号はローマ数字 (i, ii, iii …) とする

\*Wordの「レイアウト」→「区切り」→「セクション区切り」→「次のページから開始 など」を使い，セクションの区切りを設けることで行う

\*ページ番号はフッターに入れる

**目次**

1[. はじめに 1](#_Toc33627550)

[2. 研究方法 5](#_Toc33627550)

[2.1 研究対象地域 5](#_Toc33627551)

[2.2 \*\*\*\* 10](#_Toc33627552)

[3. 結果 15](#_Toc33627554)

[3.1 \*\*\*\* 15](#_Toc33627555)

[3.2 \*\*\*\* 20](#_Toc33627556)

[3.3 \*\*\*\* 27](#_Toc33627557)

4[. 考察 35](#_Toc33627554)

[4.1 \*\*\*\* 35](#_Toc33627555)

[4.2 \*\*\*\* 40](#_Toc33627556)

[5. 結論 46](#_Toc33627554)

[謝辞 47](#_Toc33627562)

[引用文献 50](#_Toc33627563)

\*目次は，本文中で見出しをつけた後，「参考資料」→「目次」から挿入する

\*結論よりあとの謝辞，引用文献等は章立てをしない

**図表目次**

[図 1　研究対象流域 6](#_Toc33627564)

[図 2　研究対象流域の地質 8](#_Toc33627565)

[図 3　\*\*\*\* 11](#_Toc33627566)

表 [1　\*\*\*\*の分析値 17](#_Toc33627564)

表 [2　\*\*\*\* 19](#_Toc33627565)

**付図付表目次**

付図 [1　\*\*\*\* 55](#_Toc33627564)

付表 [1　\*\*\*\* 60](#_Toc33627565)

\*↑図表目次は，「参考資料」→「図表番号・図表目次の挿入」を利用する

# **1. はじめに**

山岳域は，その高い水ポテンシャルから「water tower」と称され，人間活動が盛んな下流域へ水資源を供給する主要水涵養域として認識されている（Viviroli et al., 2020）．一般的に・・・・

（本文の書き方や表現などは基礎実習テキスト「報告書の作成方法」を参考にすること）

**[注意事項・確認事項]**

\*盗用・剽窃は絶対にしないこと（不正行為が認められると学位が剥奪さることがある）

\*印刷時，本文第1ページは見開き右側にすること

\*学位論文を書き始める前に，指導教員と目次（章立て）を綿密に打ち合わせること

\*文章のフォント：見出し→ゴシック系，文章→明朝系，英数字→times系

→図表内のフォントはこの限りではない

\*本文のフォントサイズ：和文の場合は11pt程度，英文の場合は12pt程度

\*行間：1.5行（游系フォントを使うと行間が開きすぎる場合がある．その場合，段落オプション内の「1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる」からチェックを外す）

→目安として，1ページ1000字程度（25行程度）

\*原則，句読点は「，」「．」を用いること

\*見出しは中央ぞろえ，本文は両端ぞろえにすること

\*数式には，式番号をふること

\*Paragraph（段落）とSentence（文）を適切に理解して記述すること（1文のみで1段落となることは多くの場合では無い）

\*図表はなるべく本文中で引用されている箇所の近くに置くこと

\*図表は余白から1cm以上内側に収まるサイズにすること（製本時に裁断されないため）

\*学位論文中の図表は番号を振り，番号順に本文中に用いること

\*本文中に引用しないが掲載が必要な図表は，付図付表に掲載すること

\*謝辞，引用文献は章立てをしない

\*引用文献リストに記載されている文献は，全て本文中に引用すること

\*引用文献リストは第一著者の姓（family name）のアルファベット順に列挙すること

\*引用文献リスト中で，英語表記の引用文献では，著者のfirst nameとmiddle nameをイニシャルのみに省略すること

\*引用文献リストの体裁は統一し，整えること（著者の姓と名の書き方，省略の仕方，区切り方，ページ数を記す記号の種類などを含み，統一する必要がある）

\*学位論文の提出方法と提出部数は，各々で確認し，期限に遅れないように提出すること

\*学位論文を英語で書いても良いが，その場合，上記の和文の体裁に準じたものとすること

\*本文からのページ番号は数字 (1, 2, 3 …) とする

\*ページ番号はフッターに入れる

本文の1ページの例：

#1 本文における1ページ当たりの行数：25行程度，1ページの文字数：1000字程度

#2 行間：1.5行を推奨（游系フォントなどを使うと行間が開きすぎる場合がある．その場合，段落オプション内の「1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる」からチェックを外す）

テストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテストテ